



あらゆるジャンルのアートが大集結 市文化祭開催

10月31日㊥から11月2日㊤まで、市文化協会主催の文化祭が中央公民館で開催されました。歌、ダンス、合奏などを披露する音楽芸能発表会では、市内の団体やスクールなどが日頃の練習の成果を存分に発揮。訪れた人は、パフォーマンスに笑顔を見せ、熱い拍手を送りました。また、作品の展示やバザーも行われ、文化活動を通して住民同士の交流が深まる3日間となりました。



川のせせらぎを聴きながらゆったり 第6回滑川 BOOK CAMP

11月2日㊤に、なめがわ清流の森で昼と夜の二部構成でBOOK CAMPが開催されました。訪れた人は出店者との会話を楽しんだり、テントで本を読んだり、美味しい物を食べたりと、思い思いに心安らぐ時間を過ごしていました。夜の部では、シタールの演奏を聞きながら、焚き火を囲んでゆったりキャンプ。滑川の山奥が特別な空間となった一日でした。



音楽で繋がる心 音楽会で市内の小中学校が交流

11月6日㊤に、市内の全小中学校が集まる市音楽会が川内中学校で開催され、参加した児童、生徒は、これまで練習してきた成果を一生懸命発揮しました。また、他校の合唱や演奏を真剣な表情で聴き、個性溢れるステージに温かい拍手を送っていました。最後に、上林小学校の山内 貢先生の指揮により全員で唱歌「ふるさと」を合唱し、音楽を通じて心と心を通わせていました。



怖がらず思い切ってひねるのがポイント 福祉館でバルーンアート教室

福祉館では、子どもたちのふれあいの場を設け、創作活動を通して相互協力や個性を尊重し合う心を養うことを目的に、さまざまな体験教室を実施しています。11月4日㊤には、各地でバルーンアートショーを行う清家浩三さん（写真前列左から2番目）を講師に、バルーンアート教室を開催。参加した川内中学校の生徒たちは、試行錯誤しながら作品を作り、笑顔溢れる時間を過ごしていました。



世界中が愛と音楽で溢れるように 東温国際音楽の日記念コンサート

音楽を通じた国際相互理解の促進に資する活動が行われるように、10月1日は国際音楽の日と定められており、10月19日㊤に、東温国際音楽の日記念コンサート「木管五重奏によるマチネ」が中央公民館で開催されました。コンサートでは、県内出身の若手演奏家を中心に木管五重奏が演奏され、会場は鳴り止まない拍手と感動に包まれていました。



どきどきわくわくする火の勉強 川上小放課後わくわく教室で火おこし

9月24日㊤に、県LPガス協会協力のもと、火について学ぶ「火育教室」を開催しました。マッチの安全な使い方を学んだり、木の棒と板を擦り合わせて火おこし体験をしたり、かまどで炊いたお米を食べるなど、五感を使いながら学びを深めました。子どもたちは火を使った体験に興味津々な様子で、火おこしが成功すると「できた!」と笑顔を見せていました。



地産地消で支える「おいしい給食」 総合保健福祉センターで調理員研修会

10月25日㊤に、市と久万高原町保育協議会の調理員、栄養士、所長が参加し、「子どもの育ちを支える、安全・安心でおいしい保育所給食」をテーマに研修会が開催されました。参加者は、市内産のもち麦や久万高原町産のトマトのような、地元食材の魅力を活かした「もち麦入りナスとトマトのチーズ焼き」など4品を調理しました。その後、アレルギー事故を防ぐ工夫について意見交換しました。



親子で楽しみながら、健康を考える 中央公民館で健康フォーラム 2025

10月5日㊤に、「口から始まる健康づくり」をテーマに「オーラルフレイルと全身への影響」の特別講演が行われました。

会場では、愛媛大学医学部の学生による子ども向けのAED講習会や松山東雲短期大学の学生（ベジガール）による3種類の野菜スムージーの試飲など多彩なイベントが開催され、親子連れの参加者からは笑顔が溢れていました。



早く大きくなってね 北吉井幼稚園で玉ねぎの種まき

10月31日㊤に、自分たちで育てる地産地消の食育活動の一環として、来年度の給食で使用する玉ねぎの種まき体験が開催されました。当日は雨天のため、講堂に場所を移して行われ、園児は説明を聞いた後パレットに土を入れ、小さな玉ねぎの種を丁寧にまき、土をふとんに見立てながら「玉ねぎさん、おやすみ」と声を掛ける様子も見られました。



親子で地球温暖化を考える デコ活 in とべ動物園

11月9日㊤に、地球温暖化について考えるイベントが開催され、親子26人が参加しました。飼育員から、北極の氷が溶けるのが早くなったり、森林開発が進んだりしていることで、動物たちが絶滅の危機にさらされていると説明を受けました。講演後、参加者全員が日々の生活で実践できる取組を考え、デコ活（地球を守りながら暮らしを良くすること）宣言をしました。

生の経験談が参加者の胸に響きました 自分らしく最期まで生きるために

9月24日㊦に、男女がともにいきいきと暮らせる地域を目指して活動する団体「きり東温」が主催する研修会が中央公民館で開催され、「望むような最期を迎えるための方法」をテーマに自宅で最期を迎えるための心構えなどを学びました。

きり東温ではさまざまな研修会を実施しており、開催日時等は「情報BOX」のコーナーで定期的にお知らせしていますので、是非ご参加ください。



テーマは「知ることによって楽になることがある」 一緒に認知症を学びませんか

毎月第1㊦の13時30分から、シニアライフセンターみゆげで開催されている「オレンジカフェ カノン」。愛媛大学医学部附属病院精神科の上野修一教授を講師にお迎えし、ミニ講話などを通して認知症の最新情報を学び、理解を深めています。物忘れが気になる人やその家族、認知症を勉強したい人など誰でも参加できますので、お気軽にお越しください。
 ☎在宅介護支援センターみゆげ ☎955-1717

小学生の頃に初めて立った舞台へ凱旋 山崎玲奈さんが表敬訪問

2017年の市民ミュージカル「城ノブ〜愛媛のマザー・テレサ〜」で初舞台を踏んだ山崎玲奈さんが、坊っちゃん劇場で上演される「新 鶴姫伝説〜鎧に白い花を〜」で、11月3日㊦から12月7日㊦まで主演の鶴姫役を務めます。10月29日㊦に市役所へ来庁され、公演に向けての意気込みや稽古の様子などを話していました。市長・副市長は、今後ますますの活躍を願って激励の言葉を送りました。



100歳おめでとうございます ご長寿のお祝いに訪問しました

9月18日㊦に、市長が100歳を迎える小倉好美さん（写真中央）に直接お祝いの言葉をお伝えするため、ご自宅を訪問しました。小倉さんは、内閣総理大臣、県知事、市長からの賞状を受け取り、時折涙を浮かべながら「ありがとうございます」と感謝の気持ちを伝えていました。市内には、今年度100歳を迎えられた人とこれから迎えられ人が15人おられます。大変おめでとうございます。



災害に備え学ぶ 手つなぎ防災ひろば

10月15日㊦に、小学生と地域の人たちが参加する防災訓練が西谷小学校体育館で開催され、簡易テントと段ボールベッドを作る避難所開設訓練、三角巾やストッキングを使った応急手当を行いました。昼食には、お湯で作る非常食のわかめご飯、市赤十字奉仕団員が調理した豚汁の炊き出しが参加者に提供され、温かい食事を笑顔で味わっていました。



いざという時のため、地域で学ぶ 横河原区防災訓練

9月14日㊦に、横河原区自主防災会による訓練が横河原公民館で行われ、地域住民が参加しました。市消防職員から消火器や消火栓の使い方、心肺蘇生法などを教わり、いざという時の備えを改めて確認しました。同自主防災会顧問の岡村和典さんは、「何度も訓練することで、身体が覚えてきます。訓練に参加し、せめて家族だけでも助けられるようにしましょう」と、参加者に呼び掛けていました。



戦後80年平和の祈り 第5回東温市戦没者追悼式

先の大戦で亡くなった人たちに追悼の誠を捧げ、恒久平和を祈念する第5回東温市戦没者追悼式が10月25日㊦に、中央公民館で開催されました。出席者は、最初に黙とうを捧げ、続いて遺族会会長などが追悼の辞を行い、献花の後には、東温ジュニアハーモニーと重信コーラスによる「ふるさと」や「いのちの歌」が披露され、平和への願いを新たにしました。